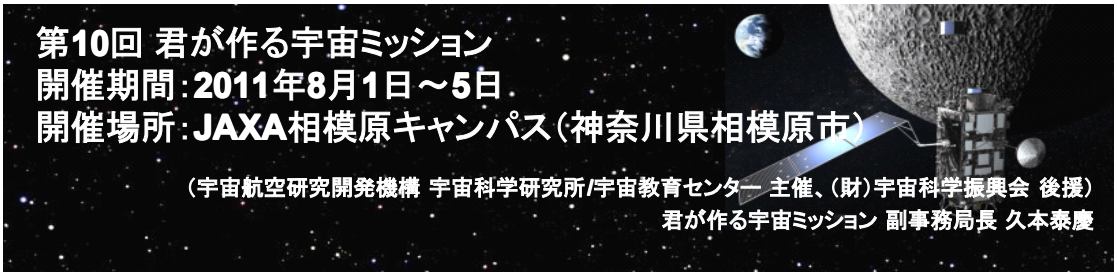


高校生向け体験学習プログラム「君が作る宇宙ミッション(通称；きみっしょん)」は、8月1日から5日の日程で開催されました。節目となる第10回きみっしょんも、貴財団様のご支援・ご協力の下、無事に終えることが出来ました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

【概要】
「きみっしょん」は、4泊5日の合宿形式で、JAXA職員や研究者、大学院生のサポートを受けながら1つのミッション計画を作り上げる、高校生を対象とした研究体験型の教育プログラムです。今年度は過去最高の応募総数の中、選ばれた24名が全国各地からJAXA相模原キャンパスに集まりました。
「きみっしょん」では、人から「教わる」のではなく「自ら」の発想をベースに問題設定と問題解決に取り組みます。まずは高校生が6人のチームを組み、適切なミッションの目標を設定することから始まります。チームの目標が決まれば、その目標を達成するための手段や方法を考えミッションを組み立てていきます。チームでひとつのミッションを作り上げていくため、常にチームワークが求められます。
高校生たちは議論と検討を重ねた結果、研究発表会にて以下の4つのミッションを提案しました。

・A班　宇宙発電所の建設　～MADE IN SPACE～
(エネルギー問題を解決するため、宇宙空間に太陽光発電所を建設し世界中に送電する)

・B班　宇宙船内での循環システムの開発 ～目指せ100% リサイクル～
(長期の有人宇宙探査を可能にする、宇宙船内の資源の循環システムの構築)

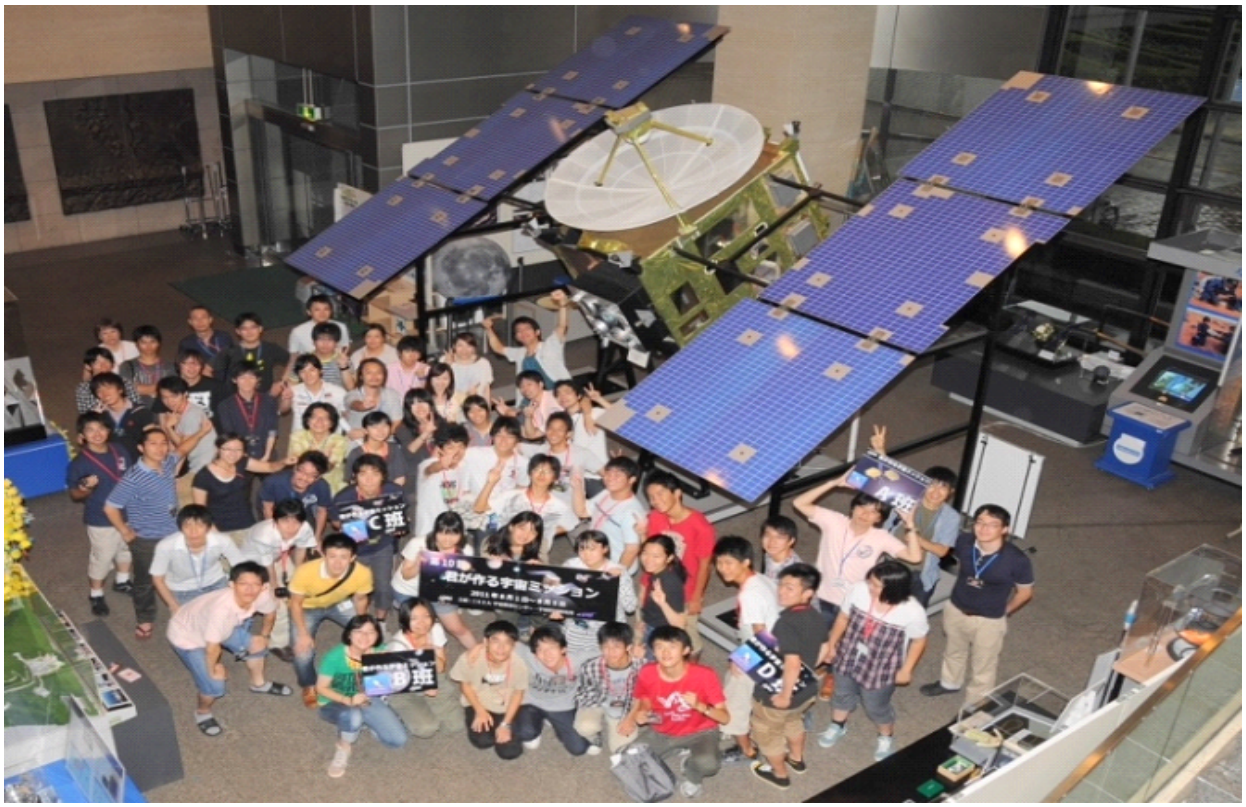
・C班　エンケラドスの生命探査
(地球外生命体の発見とその進化の過程を知るために、土星の衛星、エンケラドスを探査する)

・D班　Fresh ISS Cooking
(新鮮な食材を用いてISSでみそ汁を作ることを例に、宇宙空間での将来的な調理法の研究)

どのミッションもオリジナリティーに溢れ、且つ限られた時間ながらも具体的に検討されていました。聴講に来て下さった先生や研究者の方からの質問に対しても自信を持って答弁していた様子が印象的です。尚、研究発表会の様子は、宇宙教育テレビを通じ生中継され、相模原キャンパス外の一般の方々にも高校生たちの勇姿を見ていただくことが出来ました。

参加した高校生たちは「きみっしょん」を通して、宇宙科学への興味・関心、勉強への意欲を高めることが出来たと思います。また、ここで得た出会いや経験、知識や達成感はかけがえのないものになったことでしょう。現在、参加した高校生の中には、自発的に議論を継続し来年春の日本天文学会(ジュニアセッション)を目指して準備を進めている高校生もいます。
きみっしょんの活動が高校生の進路を考える一助となり、さらには彼らが将来宇宙科学分野に進んでくれることを願っています。

スナップ1



全体集合写真　はやぶさ模型前

オリエンテーション

特別講演にて先生に質問する様子

スナップ2

施設見学の様子

エッグドロップコンテストにて機体を紹介する様子

議論する様子

議論する様子

議論する様子

研究発表会